

新型コロナワクチン接種5分後に「手足がビリビリと痺れて…」 厚労省の現場職員“データ修正”認める【“ワクチン後遺症”を考える シリーズ4】

12/27(土) C B C テレビ



▼CBCでは新型コロナワクチンの副反応問題などについて、2021年から取材を進めてきました。これまで放送した内容を複数回に分けて振り返ります。この記事は、2022年に放送したものです。

ワクチンデータの修正問題。厚労省の現場職員も接種者を「未接種」扱いにしていたことを認めました。また、ワクチン接種5分後に体調異変に襲われた女性は、実名で現状を訴えました。

■ワクチン打たない方が陽性者が多くなるよう分類

国は新型コロナの新規陽性者が、ワクチン「接種済み」か「未接種」だったのかを記録していましたが、接種日がわからない場合、「未接種」の扱いにしていたことが取材でわかったのです。

つまり、新規陽性者の中で、ワクチンを打っていない未接種者が実際よりも多くなってしまうことになり、問題視されました。しかし、官房長官は会見で…

(松野博一官房長官 当時)

「接種日が不明であっても『ワクチン接種歴あり』と届けられた事例は、『接種済み』と扱っており、『接種している』と届け出があった方を『未接種』として取り扱ったものではありません」

■厚労省の現場職員は「左様でございます」

接種済みであれば、日付がわからなくとも未接種には入れていないと疑惑を否定。

CBCでは、再度厚労省に確認を求めましたが、回答はありませんでした。

ところが、問題を報道で知った関東のある市会議員が電話で確認すると…

(関東の市会議員)「(ワクチン接種した人の) 接種歴未記入というのを、どのように区分

けていたのかってことなんですが」

(厚労省)「(接種) ありで日にちが入っていない場合、こちらがそういた事例となります」

(関東の市議会議員)「接種の1回目や2回目の『あり』に○をつけていたとしても、打った日付が」

(厚労省)「未記入の場合」

(関東の市議会議員)「打った日付がわからなかつた場合ですよね」

(厚労省)「左様でございます」

(関東の市議会議員)「そのときには、修正前は」

(厚労省)「未接種に計上していた」

(関東の市議会議員)「今回修正し直したということですね」

(厚労省)「左様でございます」

厚労省の担当部署は、日付がわからなければ「接種済み」でも「未接種扱い」にしていたことを改めて認めたのです。

■ワクチン接種後 歩くのには「杖」が必要に

一体、なぜこんなことをしていたのか。うやむやにされている”コロナワクチンの問題”。しかし、それと同様に深刻なのが、「ワクチン後遺症」とも言える。接種後の体調異常。今回、新たに訴えが寄せられました。

岐阜県可児市の兼松徳江さん 59歳（当時）。

ワクチンを打った後、歩くのに杖が必要になってしましました。

(兼松さん)

Q. 杖がないと歩けないですか？

「歩けなくはないです。杖なしで行こうと思うとちょっとこわごわ。だけど、とっても疲れちゃう」

Q. 普通に歩けなくなった原因って何なんですか？

「11か月前に1回目のワクチンを打って、打った5分後からこれが始まったので、原因がワクチンじゃないかなという思いは消えないですね」

■ワクチン接種5分後 体に異変が…

ワクチン接種は、2021年7月。体調異変はその直後からずっと続いている。実態を知ってもらいたいと今回、実名で取材に応じると話します。

(兼松さん)

「人に何かを伝えたいと思うときに、自分の身分をきちんと明かした上で『私はこういう人間です。だから聞いてください』と言う方がより説得力があるというか、耳を傾けていただけるんじゃないかなと」

Q. 打った直後はどんな状況だった？

「5分くらい経ったら、手のひらがビリビリする感じがあった。それと同時に、足の裏も同じように、痺れてきた感じがあった。それから数分です。どんどん重いというか、高熱が出たときのだるさみたいな」

摂取してわずか5分で体調に異変が起き、それが悪化したため、急いで病院へ。ところが…

(兼松さん)

「特に聴診器を当ててもらうとか、診察っぽいことは何もなくて、すぐ近くの大きい総合病院に、紹介状を書くので、すぐそっちに行ってくださいと」

■診断した医師 “ワクチンとの因果関係ある”と明言

ワクチンとの関連を訴えた兼松さんですが、たらい回しにされ、5件目の病院でようやく。

(兼松さん)

「そこは初めて理解してくださって」

入院診療計画書には「病名、新型コロナワクチン接種後副反応とあります」

診断した医師は、ワクチンとの因果関係はあると明言します。

(白川病院 野尻眞院長)

Q. ワクチンとの因果関係はあると思いますか?

「あると思います。(それまで) 何もなくて、5~10分後に起きたとすれば、その前に打った注射が原因。何が起きているか、何が起きるかすら(国から)伝達されていない。もっと先生方が情報を得ていれば、ワクチンを打ったことによる副反応だよねと診断できたと思う」

■働けなくなり…貯金を切り崩しながらの生活

ワクチンの副反応に関する国からの情報が、あまりに少ないことが判断のばらつきに繋がっていると考えられるのです。兼松さんは、足だけでなく、手にも力が入らない状態が続いている。

(兼松さん)

Q. ポットのふたは開けられますか?

「頑張ります。ちょっと待ってくださいね。よいしょ…何とか開きました」

現在、26歳の長女と17歳の高校生の長男の3人暮らしですが、家事はおろか、日常生活もままならず、働けない状況が続いています。貯金を切り崩しながらの不安な生活。なかでもつらいのは、理解をしてもらえないことだといいます。

(兼松さん)

「異常がないんだから、体は全然問題ありません。だから『精神的なものじゃないの』とか言われるのは、これだけつらいのに、これだけしんどいのに。だから、助けて欲しくて病院に来ているのに、なんでわかつてくれないの。どうして拒絶するの?『助けてください』という思いで行っている。『知らない』『違う』『関係ない』『わからない』『何もできない』と言われたことが一番つらかった」

■「答えることは困難」「ワクチンが原因と判断された事例はない」

ワクチン接種を推奨してきた以上、「副反応」やいわゆる「後遺症」への支援は国の責任ではないのか。

兼松さんは、知り合いの国会議員を通じ、国に質問書を出しました。しかし、届いた答弁書には、「答えることは困難」「ワクチンが原因と判断された事例はない」「実態は把握していない」など前向きとは思えない文言が並んでいたのです。

(兼松さん)

Q. 国からの回答を見て、どんな印象を持った?

「まあ、こんなもんかと。そもそも”ワクチン後遺症”という言葉が認められていなくて、定義がないはずなので、だから国としても『そうですね』と言えないのは、よくわかるんですよ。だけど、寄り添ってもらうえるような回答を私たち一番望む」

”ワクチン後遺症”そのものの存在すら、認めようとしない国の回答。これでは、大勢の人が救われないと話します。

(兼松さん)

「国が国全体をあげて推奨してたということもあったので、まず国に対してこういう現状を理解してほしいという思いがあります。少しでもたくさん的人に、こういう人たちがいますということをもっと知ってほしい」

CBCテレビ「チャント！」2022年6月放送より

【“ワクチン後遺症を考える”これまでの記事】

▼新型コロナワクチン接種後に急死… 検視をしても原因不明 医師が注意呼び掛ける“ある副反応”

▼新型コロナワクチンを打っても“未接種扱い”に 厚労省「理由は不明だが意図的なものではない」 突如データ“修正”

▼波紋広がる 厚労省のずさんなデータ分類 不可解な修正 食い違う主張

▼新型コロナワクチン接種5分後に「手足がビリビリと痺れて…」 厚労省の現場職員“データ修正”認める

▼体温計に残された41.5度の表示 ワクチン接種後に39歳息子が死亡 「検視時の体温が非常に高かった、普通じゃ考えられない」

▼「溺れるように苦しくて」 新型コロナワクチン接種13分後にアナフィラキシー 突然膝から力が抜け歩くこともままならず

▼浴槽に沈んでいた13歳の息子 新型コロナワクチン接種数時間後に急死 因果関係は“評価不能”

▼「娘の顔が分からない」 5回目のワクチン接種後に起きた“異変” 震えが止まらず発熱・記憶障害も… 当然とされた医療従事者の接種

▼顔中に赤黒い内出血が… 手足も膨れ上がる 新型コロナワクチン接種後に夫が難病を発症し死亡 「検証されないと無駄死に」

▼「私は歩けないんです。排せつができないんです」 新型コロナワクチン接種後に“下半身不随”的男性 国の結論は“評価不能”

▼「接種後 首に痛みが…」 “ワクチン後遺症”教える大学教授 当事者になって知った救済制度の高い壁

▼高校2年の夏休みに… 新型コロナワクチン接種後“原因不明の疾患” 副反応の救済申請を自治体は1年半放置していた

▼「元の体に戻りたい」「薬害だと思っている」 “新型コロナワクチン後遺症”に悩む患者たち 救済されずかさむ医療負担

CBCテレビ

